

【人脈形成・情報収集】 産学官意見交換会：日系企業での日本語学習者の活用に向けて (米国・テネシー州)

実施日： 令和5年9月21日

主催： 在ナッシュビル総領事館

関連企業： 管轄州内日系企業

在ナッシュビル総領事館

【背景】

- 在ナッシュビル総領事館の管轄州内では、EV関連大型プロジェクトが進行。日系企業から人材獲得の競争が更に激化するとの懸念。
- 日系企業の安定的な事業継続ために、採用・人材面において、地域の各方面と重層的な協力関係の構築や日系企業ならではの人材獲得のスキームが望まれるとの認識。
- 日系企業には、日英バイリンガルや日本の文化慣習を理解している人材へのニーズがあり、他方、日本語教育者側には、日本語学習者への日本語の実践的な活用機会の創出や日本語学習の具体的なメリットの明確化等のニーズが存在。

【在外公館の対応】

テネシー州内の8大学から日本語教育関係者、日本語能力を有したり日本の文化慣習を理解する人材(以下、「日本語・日本文化学習者」)を求める日系企業関係者、テネシー州経済開発庁及び当館が集まり、日系企業における日本語・日本文化学習者の活用に向け、「産学官」関係構築及び連携強化のための意見交換会を実施した。

【結果】

- 日系企業及び大学間の関係構築の機会を創出すると共に、双方の現状や課題、ニーズを共有し、日系企業での日本語・日本文化学習者の活用に向けた、連携の可能性を協議する機会を創出することができた。
- 地域の有識者層とのネットワークが厚く、若年層への発信力も当然に有している大学関係者に対し、日系企業の貢献について理解度を高め、同教員から大学内外へ発信効果も期待。
- 日系企業が、大学の日本語・日本文化学習者による日系企業への興味関心の高さや潜在的な有望人材であるということについての認識を高める機会となり、「産学官」が協力してこの潜在的な人材層に対し、どのようなアプローチが考えられるのか検討する機会となった。

